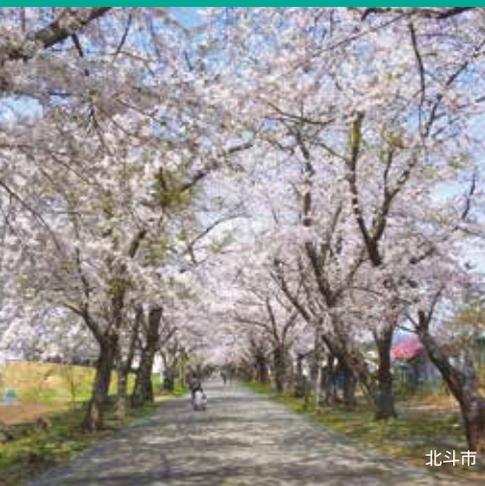


うみしんの現況

2019

Donan Umimachi Shinkin Bank
DISCLOSURE 2019

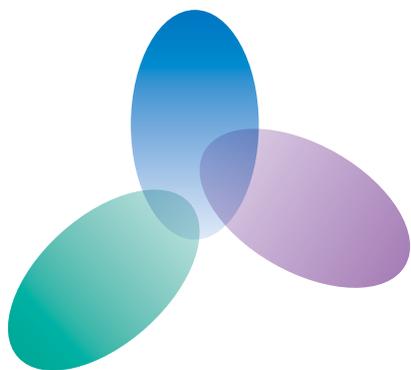
2019年ディスクロージャー <2018年4月1日～2019年3月31日>



Donan Umimachi Shinkin Bank DISCLOSURE 2019

当金庫の概要 (2019年3月31日現在)

名 称	道南うみ街信用金庫
所 在 地	松山郡江差町字本町132番地
創 立	大正13年2月25日
預 金	2,767億2千2百万円
貸 出 金	1,191億9千2百万円
出 資 金	34億3百万円
店 舗 数	20店舗
会 員 数	18,235人
常勤役員数	274人



■シンボルマーク

江差と函館の道南エリアを形象化するため、お客様・道南地域・当金庫を三つの楕円で表し、それぞれが未来に向かう姿を表現したものです。

目 次

ごあいさつ	1
経営理念・経営方針	2
業績ハイライト	3
自己資本	5
不良債権の状況	6
総代会	8
地域貢献	11
トピックス・地域とのふれあい	13
中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況	20
「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み	21
地域金融円滑化に向けた取り組み	21
リスク管理・コンプライアンス(法令等遵守)	22
顧客保護等管理について	23
反社会的勢力に対する取り組みについて	23
金融ADR制度への対応	23
預金保険制度について	23
預金業務のご案内	24
融資業務のご案内	25
各種サービス業務	26
事業の組織	27
役員一覧	27
営業地域	28
店舗一覧	30
開示項目索引	31
資料編	32
役職員の報酬体系の情報開示	35
自己資本比率規制に基づく開示	42
うみしんのあゆみ	49

ごあいさつ

2019年7月

理事長 藤谷 直久



皆さまには、平素から私ども道南うみ街信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り心より厚くお礼申し上げます。

当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくために、ここにディスクロージャー誌を作成しました。経営方針、業績、財務内容をはじめ業務のご案内や地域の皆さまとのふれあいなど、現状をわかりやすくご案内しておりますのでご高覧いただければ幸いに存じます。

当金庫は、2017年1月より新生「道南うみ街信用金庫」としてスタートし、お蔭様で経営に大きな影響を与える様な事故・事件もなく2回目の決算を迎えました。これもひとえに永年お取引を頂いている多くのお客さまのご理解とご協力のお蔭と衷心より感謝申し上げます。

さて、2018年度の国内経済は、相次ぐ自然災害により一時的に景気の下押し要因が見られましたが、インバウンド需要の持ち直しや大手企業を中心とした好調な企業収益を背景に設備投資が増加、また雇用や所得環境の良化から個人消費も増加するなど全体的に緩やかな回復基調を辿りました。

一方道南地域においては、北海道新幹線の開業効果が徐々に低下しつつあることや、9月の胆振東部地震の打撃をうけ、函館市の4月～9月観光客数が前年同期比3.9%減少するなど観光サービス業への影響が見られたところでありますが、「ふっこう割」効果により回復。また、建設業においては新幹線札幌延伸トンネル工事や新外環状道路工事などにより工事請負額では前年度比12%増加の883億円と堅調に推移したところです。しかしながら、道南一帯の前浜漁はイカ漁をはじめ数年不漁に見舞われ、一次産業や二次産業に深刻な影響を及ぼしており、地域経済回復の足かせとなって今日に至っております。さらに、多くの中小企業は、依然として後継者問題や人手不足の深刻化に直面するなど厳しい経営を余儀なくされました。

このような業況下、当金庫は資金運用収益確保および地域金融機関として事業再生等取引先の業績回復への支援を重点施策とし、取り組んできたところであります。預金は、一般法人が堅調に推移し平均残高で25億円増加しましたが、貸出金は、約定弁済や上部機関の繰上げ償還、他業態の顧客争奪攻勢を受け49億円減少しました。当期純利益は296百万円を確保し、また、自己資本比率はリスク・アセットの増加により前年度比0.61ポイント低下し14.57%となりましたが、国内で営業する金融機関の下限4%を充分上回っておりますので健全性に揺るぎありません。

当金庫は2018年度に新3カ年中期経営計画「Progress」を策定いたしました。地域金融機関として三方よしの理念の下、前年度に引続きお客さま第一主義に立った業務の多様化・高度化等を進め、金融サービス充実化による一段の「うみしん相談ブランド」の確立に向け積極的に取り組んでまいります。

地域のホームドクターとして、中小企業、とりわけ小規模な事業者をサポートし地域から必要とされ続ける金融機関を目指してまいり所存でありますので、引き続き倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

三方よし(お客様よし、地域よし、金庫よし)の理念の下、
信用金庫の独自性・特性を活かし
地域社会に必要とされ続ける金融機関を目指す

経営方針

- 一. 質の高い金融サービスの提供に努め、多くのお客様と地域社会の繁栄に貢献します
- 一. 健全経営に徹し、信頼・信用される金庫の維持と事業の発展に努力します
- 一. 職員の融和と資質向上を図り、やりがいのある職場を創ります

中期経営計画(2018~2020年度)【Progress】

2018年度より『「三方よしの理念」のもと、地域・お客さまが必要とする金融サービスを「誠意をもって誠実」に提供し、「地域」のホームドクターとして「地域」から必要とされる金融機関であり続けることにより持続性を確立する』ことを目指すべき姿とした新中期経営計画【Progress】を策定し、以下に示す戦略に基づき、役職員一同、全力で取り組んでおります。

Progress

【戦略1】 支援力・営業力の深化

- ・金融仲介機能の発揮
- ・お客さまとの長期的信頼関係の構築
- ・会員組織の有効活用
- ・業界ネットワークの活用
- ・地道なCSR(社会貢献活動)の展開
- ・地域活性化に向けたプラットフォーム機能の発揮

【戦略2】 経営力・内部態勢の深化

- ・収益性の向上
- ・生産性・効率性の向上
- ・健全性の確保
- ・透明性の向上
- ・法令等遵守態勢・顧客保護等管理態勢のさらなる強化推進
- ・リスク管理態勢の強化推進
- ・業務継続態勢の強化推進

【戦略3】 人材力・組織力の強化

- ・人材の確保
- ・人材の育成
- ・働き方改革

【戦略4】 独自性の発揮

- ・「おもてなし」態勢の強化
- ・店舗回り美化へ促進
- ・年金レディース活動の業務範囲充実